

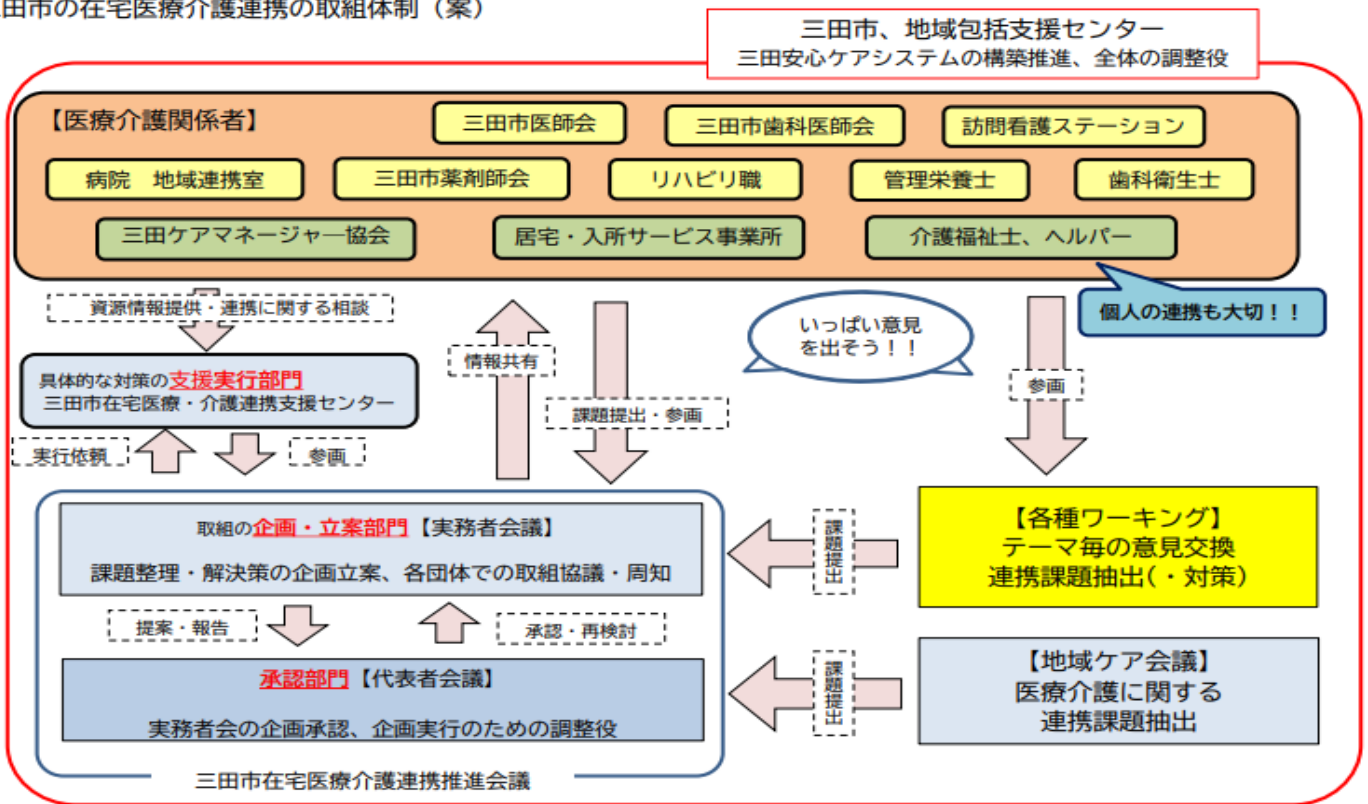
医療・介護関係者の皆様へ

平素より三田市在宅医療・介護連携支援センターの運営にご協力・ご理解いただきありがとうございます。三田市在宅医療・介護連携支援センター通信 第15号を発行いたしましたのでご覧ください。

三田市の在宅医療・介護連携の推進体制について

「三田市在宅医療介護連携推進会議」のイメージ図を、再検討いたしました。

三田市の在宅医療介護連携の取組体制 (案)



【それぞれの主な役割】

- 三田市在宅医療介護連携推進会議 代表者会
→在宅医療介護連携に関する課題に関する取組の承認・調整部門
- 三田市在宅医療介護連携推進会議 実務者会
→在宅医療介護連携に関する課題に関する取組の企画・立案部門
- 課題抽出ワーキング(旧連携課題、看取りワーキング)=各種ワーキングの1つ
→在宅医療介護連携のテーマ毎の意見交換・課題抽出の場



●第6回三田市在宅医療介護連携研修会

「訪問看護ステーションの機能と役割について知ろう」
講師：SUNDA訪問看護の会 奥谷奈美 氏

参加者38名（病棟看護師・ケアマネジャーさんなど）
訪問看護師さんのできる事などを事例を交えながら、
の大変分かりやすい研修会でした。「こんな医療処
置をしながらでも」「こんな状態でも」と思うよう
な方でも、訪問看護師さんをはじめ様々な在宅支援
者に支えられながら、人生の最終段階を在宅で過
す笑顔が印象的でした。今後も継続的に、訪問看護
師さんのお話を聞かせてもらいたいと思いました。
ご講義ありがとうございました。



●第3回さんだ在宅スキルアップ研修会

「褥瘡ケアや方法について知ろう」
講師：皮膚・排泄ケア認定看護師 古家後智美 氏（在宅看護センターeN環）

参加者33名（様々な職種の方が参加されました）
在宅医療・介護を担う地域の医療介護関係者の方が集まり、
皮膚・排泄ケア認定看護師の講義をはじめ、各種福祉用具
を扱う企業から福祉用具の説明、実技指導など褥瘡ケアに
関する多岐にわたる研修会となりました。
褥瘡のケアについて、今後も継続的に学ぶ機会を提供して
いきたいと感じさせてもらえる研修会でした。講師の方々
参加された方々、長時間に及ぶ研修会お疲れ様でした。



○10/11（火）14:30～「課題抽出ワーキング」を開催予定です。

課題抽出ワーキングとは「テーマに沿って、多職種での意見交換をし課題を見つけるための場」
例えば、
・人生会議でどんな実践をしていますか？どんな事に困っていますか？
・入院時や退院時の情報提供って何をしたらいいのか？
・多職種のカンファレンスって支援者のみなさんうまくいってますか？

などなど・・・を考えています。テーマを応募したい、ワーキングに参加してみたい方がおられ
ましたら、当センター（079-565-8766）まで遠慮なくご一報ください。

【担当者変更のお知らせ】

7月末の前任者の退職に伴い、8月より担当者が1名変更になっております。
今後も在宅医療と介護の連携が円滑に進みますよう、当センターも鋭意努めて参りますので、地
域の医療介護関係者のみなさまには、変わらぬご理解とご協力よろしくお願い申し上げます。

各事業者様へ 医療介護資源情報の更新いたしました。

三田市在宅医療・介護連携支援センターにて保持している医療介護資源情報について5月に更新い
たしました。公表できるものについては当センターホームページにて開示しておりますので、ご確
認ください。内容について修正が必要なものについては当センターまでご一報ください。